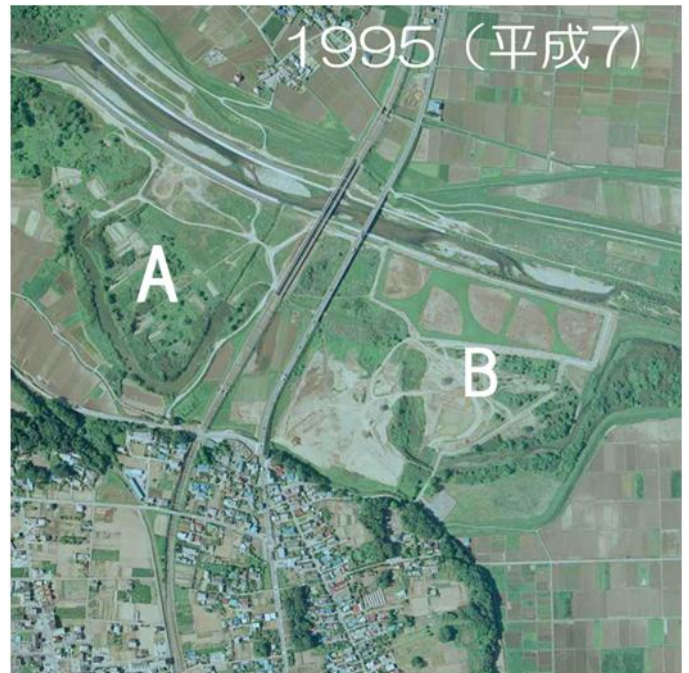


## 「都幾川の三日月湖(8)」

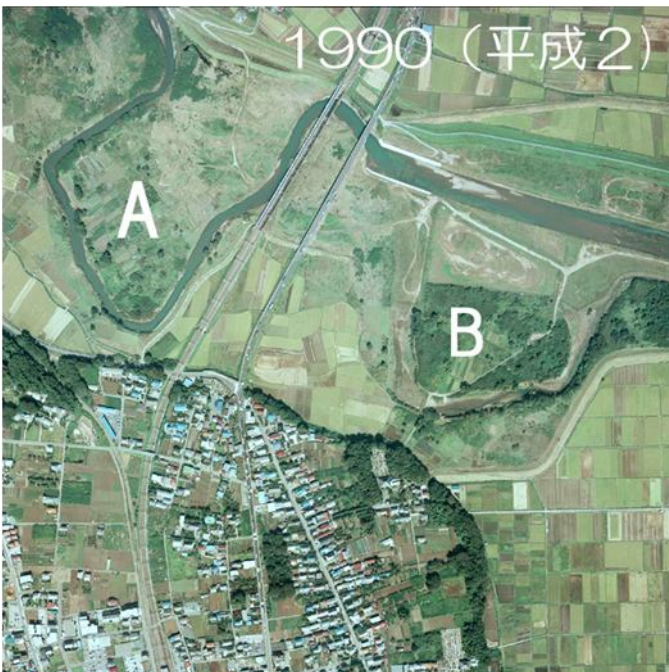
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



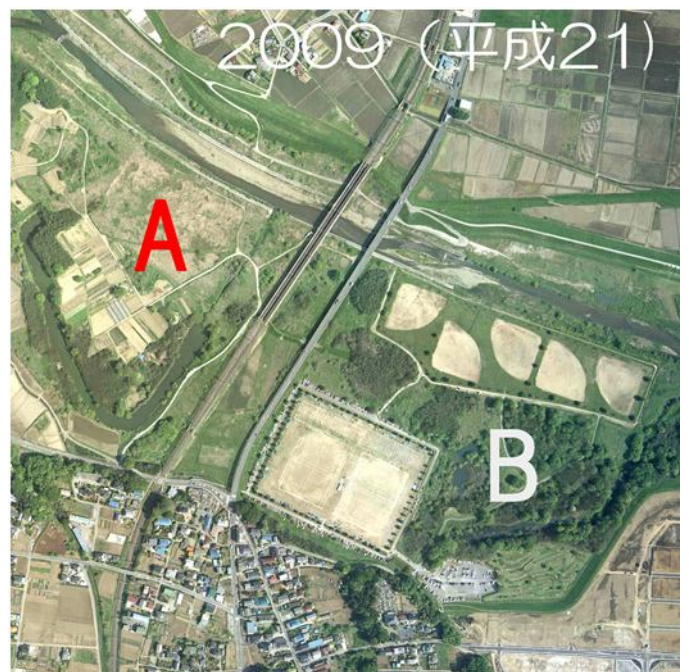
昭和末期の1985年の段階では、まだBの蛇行はそのまま都幾川本流として生き残っている。しかしその北側には、すでに人口堤防が築かれている。Aの蛇行は、この時点では全く手つかず・・・である。



1995年になると、ついに一番上流のAの蛇行が消滅した。「今話題の」三日月沼の出現である。確かに都幾川本流は、実にきれいな捷水路となっている。Bの「屈曲部跡地」は何かの施設を建設中のようなのだ。



平成に入り1990年になると、ついに真ん中のBの蛇行に工事が入り、捷水路化された。当時の航空写真を見ると、Bの屈曲部には、まだわずかに三日月湖が残っているが、都幾川本流は、極めて直線的な水路に改修されている。



最後に2009年の航空写真である。Bの屈曲部には野球場やサッカーグラウンドが建設され、「リバーサイドパーク」として利用されている。Aの三日月沼も、近い将来消滅するかも知れない。さて、人間は自然の川の流れを、ここまで変えて良いものなのだろうか？